

第2学年 保健体育科(保健分野) 年間単元指導計画

月	単元	■単元の学習内容		○単元の評価基準	□主な評価方法
9 10	傷害の防止	■傷害の発生要因 ■交通時期の発生要因 ■交通事故の危険予測と回避 ■犯罪被害の防止 ■自然災害による危険 ■自然災害による傷害の防止 ■応急手当の意義と方法 ■心肺蘇生法	知	○健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。また、疾病は、主体の要因と環境の要因が関わり合って発生することを理解している。 ○健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があることを理解している。 ○生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること。また、生活習慣病の多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できることを理解している。 ○喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること。また、これらの行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要があることを理解している。 ○感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすること、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できることを理解している。 ○健康の保持増進や疾病の予防のためには、個人や社会の取り組みが重要であり、保健、医療機関を有効に利用することが必要であること。また、医薬品は、正しく使用することを理解している。	□定期考査 □保健学習ノート □グループ学習
			思	○健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	
			主	○健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。	
11 12 1 2 3	健康な生活と病気の予防	■生活習慣病の起こり方 ■生活習慣病の予防 ■がんの予防 ■喫煙の害と健康 ■飲酒の害と健康 ■薬物乱用の害と健康 ■薬物乱用の社会的な影響 ■喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処			